

一般社団法人

香川県作業療法士会ニュース

発行：(一社)香川県作業療法士会広報部

事務局：〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁62-1

四国医療専門学校 作業療法学科内

(一社)香川県作業療法士会事務局

URL:<http://www18.ocn.ne.jp/~k-ot/> E-mail:kagawa-ot@star.ocn.ne.jp

「変化」 工学への関心

会長 植野 英一

先日、高松市内を車で走行中、新たに設置された信号機を見て驚きました。「薄っ」と思わず声が出ました。以前から、電球からLEDに変わり、それに伴って信号機の厚みが随分薄くなっているのは知っていましたが更に薄くなっているのではないかと思えるくらい薄くなっているように感じました。最大のメリットは、消費電力が少なく光源の寿命が長いのでエコになる点です。他にも材料費の削減や軽量による耐久性の向上・流通の効率化などメリットは大きいのだろうと思われまます。もちろん、メリットであるあまり熱を発しないことは雪が降る地方では雪が溶けず信号が目視しづらいデメリットもあるようですが香川県ではその点は特に問題にならないような気がします。

また、最近のニュースで紹介された「わずか1滴の血液でがんの診断が数分で分かる」には驚きました。これは医療機器会社が開発した特殊な金属チップに採取した血液を載せ、ヌクレオソームという物質（がんが免疫に攻撃されたときに血液中に溶け出るタンパク質）があると紫外線などを当てると発光し、初期のがんでも検出できるそうです。まだ実用化はされていませんが研究されている大学病院と医療機器会社などのグループは1年以内の臨床応用を目指しているようです。

このように身の回りの物や道具、医療は日々変化しており、私たちの生活に直接あるいは間接的に大なり小なり影響を与えています。その変化を生み出す大きな力は、工学系の技術進歩によるものであると捉えます。工学といっても機械や電気だけでなく、化学や土木、建築、通信、原子力、宇宙などその分野は多岐に渡っています。そのことに目を向け、知ることで様々な分野が変化して、これからの生活がますます安心して快適な暮らしに繋がっていくのだと思います。

作業療法の視点は（対象者の）生活や暮らしであり、工学の各分野が目指すところと合致します。そういう意味でも今まで以上に作業療法の良き変化をもたらすには工学の知識や活用が必要と考えます。自助具・福祉用具や検査・治療器具に目を向けてその改良や新たな用具や器具を生み出すことは作業療法の発展につながり、対象者の生活行為向上の実現になると考えます。まずは知的好奇心を高めて関心を持つことが大事ではないでしょうか。

一般社団法人 香川県作業療法士会 役員紹介

| | | | |
|-----|---------|---|---|
| 会長 | 植野 英一 |  | 皆様、こんにちは。引き続き代表理事(会長)を務めさせていただきます植野英一です。日本作業療法士協会との連携を密にして、会員の学術技能の研鑽と医療人としての資質アップに努め、香川県民の健康推進や生活行為の向上を目指します。これからも皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。 |
| 副会長 | 前田 悠志 |  | 学術部活動の基盤整備と充実に取り組んだ結果、若い部員も増え活気づいた部の活動となってきました。会長を補佐し県民の保健・医療・福祉の向上に寄与できるように、また会員にとっても有意義な組織になるように努めます。 |
| 副会長 | 松本 嘉次郎 |  | 引き続き理事を務めさせていただきます四国医療専門学校(松本)です。事務局長と生活行為向上マネジメント特設委員長も兼任させていただきます。作業療法士全体として今、大事な時が来ています。個人の力だけでは、難しい局面も多々出てくると思います。士会全体として盛り上げていければと思いますので、ぜひとも皆様よろしくお願いいたします。 |
| 理事 | 小松 博彦 |  | 2013年4月から施行された障害者総合支援法も、2015年2月から見直し作業が開始されました。作業療法士が関連する重要な法改正の動きが始まっています。日本作業療法士協会の理事も改選され、ときを同じく香川県士会も理事改選が行われました。そんな変化の中、再び理事として尽力することとなりました。変化に柔軟に、かつ強固な意志を持って職責を全うしたいと思います。 |
| 理事 | 石井 誠二 |  | 引き続き、理事を務めさせていただきます総合病院回生病院の石井と申します。県士会では広報部の担当理事として、内外への情報発信力を高めてまいります。また、今年度から新設された特設委員会として災害対策委員会を担当し、有事に備えて関連団体との連携強化と県士会における災害対策本部のマニュアル整備を進めてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。 |
| 理事 | 田 埜 篤 司 |  | 保険部担当理事として、2期目を務めることになりました。保健・医療・福祉の分野において広く県民・地域の皆様にご貢献できるよう尽力して参りますので、引き続きよろしくお願い致します。 |
| 理事 | 中川 真人 |  | 引き続き理事を務めさせていただきます介護老人保健施設白寿の杜の中川です。学術部を担当し、部長も兼務しています。学術部は、年3回の研修会及び西讃・東讃地区OTブロック勉強会の開催、学術誌の発行、県学会の運営を行っています。今後ともよろしくお願いいたします。 |
| 理事 | 山川 公彦 |  | 引き続き公共事業部担当理事となりました四国医療専門学校(山川)と申します。作業療法の普及啓発、社会貢献が活動の主となる部門と考え、部員及び会員の皆様と協力しながら、進めて行ければと思います。ご指導、ご鞭撻宜しくお願いいたします。 |
| 理事 | 樋本 英司 |  | 初めて理事に就任させていただきます、プライマリケア訪問看護ステーションの樋本と申します。厚労省が推進している地域包括ケアシステムの構築に向け、作業療法士として県民や他職種、他団体また行政と連携・協働に努めたいと思います。ご指導宜しくお願いします。 |
| 理事 | 若林 佳樹 |  | 作業療法士の必要性を社会に広めたい!!その想い一つで理事に立候補させていただきました。株式会社創心會の若林佳樹と申します。今まで訪問、通所介護施設を経験してきました。微力ではございますが、さらなる香川県作業療法士会の発展のために全力を尽くしますので、よろしくお願い申し上げます。 |
| 監事 | 五味 陽子 |  | 今年度は、理事の交代、組織編成の見直しが行われている。香川県作業療法士会の運営について目的を念頭に置きながら業務や会計監査を行っていく所存です。宜しくお願いいたします。 |
| 監事 | 松本 勉 |  | 引き続き監事になりました。一般社団法人である本会の事業が作業療法の向上に寄与する活動、会員にとって有益な活動、および県民に対する公益性を持った活動などであり、適切に執り行われるように関わっていきます。今まで県士会活動に関わってきた経験を活かして、監事の役割である会務および財産状況の監査を行っていききたいと思います。よろしくお願いいたします。 |

【事務所の所在地】 〒769-0205 綾歌郡宇多津町浜五番丁62-1

【設立者の名称】 一般社団法人 香川県作業療法士会

【代表者の名前】 会長 植野 英一

平成27年度 各部(委員)配置

| 部局・部長 | 副部長 | 各部部員・(委員) | |
|---|--------------------------------------|---|----------------------|
| 事務局 部長:松本嘉次郎 (四国医療専門学校) | 財務:徳永謙一 渉外:江戸晶子 福利:鎌田友美 | 青木みゆき、磯谷晃一、水上保孝、西井優子(四国医療専門学校) 徳永謙一(穴吹リハビリテーションカレッジ) 江戸晶子、滝川栄二、鴨居弘斉(三船病院) 鎌田友美(おさか脳神経外科)、栗山和子(高松協同病院) 蒔田亜吐夢(麻田総合病院) | 担当理事 松本嘉次郎 |
| 学術部 部長:中川真人 (老健 白寿の杜) | | 藤井 望(老健 白寿の杜)、瀨瀬功、森近友紀子(橋本病院) 南原紗矢果(三豊市立西香川病院) 内田晋輔、渡邊美紀、岩田恵里、石川真之(松井病院) 大矢浩司(田村クリニック)、黒田若菜(障害者支援施設 真清水荘) 建石麻衣、伊勢谷友美(林内科呼吸器科医院) 多田晃平、廣瀬正敏(回生病院)、鷹取宏治(西山脳神経外科病院) 馬場広志、泉 健二、松永 唯、平田明子、田村篤志 (かがわ総合リハビリテーションセンター) 柳原隆史、東 麻衣(いわき病院) 西田典真(プライマリケア訪問看護ステーション) 高橋直利(太田クリニック)、吉田真司(広瀬病院) 森本義博、渡辺正人、蔵本徹、村川琢人(高松協同病院) 久保潤一郎(香川大学医学部附属病院) 谷山玲子(三宅リハビリテーション病院) 松本尚士(有料老人ホーム ネムの木) 難波和広(多機能型事業所 ワークサポートセンター三愛 就労移行 支援)、磯崎拓也(ふじた医院)、水上保孝(四国医療専門学校) | 担当理事 中川真人 若林佳樹 |
| 教育部 部長:福家亜希子 (いわき病院) | | 倉田 徹(宇多津クリニック)、磯谷晃一(四国医療専門学校) 遠山和倫(西山脳神経外科) | 担当理事 小松博彦 |
| 広報部 部長:木村勇介 (滝宮総合病院) | | 西城悠香、渡田亜裕美(永生病院) 高橋真理、善相原健史、瀬知杏奈(三豊市立西香川病院) 安藤瑞基、大岸末佳、西岡奈菜、水口未紅(松井病院) 松永智香(三豊総合病院)、亀山多喜子(川口医院) 津崎裕也(五色台病院)、鎌田雄大、高橋優里(滝宮総合病院) 戸田洋子(高松協同病院)、藤本 弾(回生病院) | 担当理事 石井誠二 小松博彦 |
| 保険部 部長:川崎眞一 (川口医院) | 喜岡由紀 (老健はがみ苑) 細川ふみ代 (老健千手苑) | 佃 貢二(三宅リハ病院)、北村文照(いわき病院)、栗原利枝(三船病院) 森上裕之(りつりん病院) | 担当理事 田埜篤司 |
| 公共事業部 部長:香川久圭 (三豊市立西香川病院) | | 山下正浩、森 一祥(三豊市立西香川病院)、七條加奈(大杉脳外科医院) 難波和広(三船病院)、川崎久美、高島菜摘、浅野隆二(赤沢病院) 水上保孝(四国医療専門学校)、山崎貴士(麻田総合病院) 福井愛美、篠原智哉、三木智代(橋本病院)、津川亮介(吉田病院) | 担当理事 山川公彦 樋本英司 |
| 生活行為向上マネジメント特設委員会 | | | |
| 松本嘉次郎(四国医療専門学校)、中川真人(老健 白寿の杜)、田埜篤司(松井病院) 瀨瀬 功(橋本病院)、若林佳樹(創心会リハビリ倶楽部高松中央) | | | |
| 地域包括ケアシステム特設委員会 | | | |
| 山川公彦(四国医療専門学校) 香川久圭(三豊市立西香川病院) | | | |

先輩の声

No.15 橋本病院 回復期リハビリテーション病棟

瀬瀬 功
(11年目)



私は、作業療法士（以下OT）になり10年が過ぎました。4年前、県学会のお手伝いを機に、県士会活動に少しずつ参加するようになりました。先輩OTのご意見やご指導により勉強になることは多く、今では、県士会学術部のブロック勉強会と生活行為向上マネジメント特設委員の仕事を微力ながらお手伝いさせてもらっています。

今、私がOTとして力を入れていることは生活行為向上マネジメント（以下MTDLP）の普及です。当院では、MTDLPのシートを用いて勉強会を行いました。事例を通してディスカッションしながら問題点を列挙し、プログラムを考えていきました。“シートを用いて患者とOTの思い・考え・計画を可視化することで整理ができた”などの意見が聞かれました。当院では、既存のOT実施計画書にMTDLPの導入を検討し、少しずつ準備を始めています。

香川県ではまだまだ、研修会に参加されていない方が多くおられます。今年度は、MTDLPの研修（基礎・演習）を東讃・中讃・西讃地区で開催しますので、是非ともご参加下さい。

OTは生活行為を向上することを得意とする職種であると自信をもっていえるようになります。将来、職域が広がっていくことも夢ではないと思います。



No.16 橋本病院 回復期リハビリテーション病棟

喜井隆太郎
(8年目)



月日が経つのは早いもので、今年でOT8年目になります。現在はチームリーダーの補佐的な役割を行いながら、入院や外来患者さんのリハビリをさせていただいております。経験年数を重ねて、私自身重要視しているのは、“協業”と“敬意”です。今まで行っていた生活が送れなくなった患者さんが、自立した生活を送れるように、私たちは様々な方法でサポートしていると思います。ですが治療することは簡単なことではなく、時には一人で解決できないことも多々あると思います。そんな時、一人で考えず、チームみんなで（同職種も他職種も）課題を共有し、一つずつ解決することが大切だと思います。仲間が加われば、それだけ新しい道が開けます。新しい道が、患者さんの希望になり、目指す生活に繋がります。不安を抱えている患者さんを協業の力で助けられる、そんなOTが増えてほしいと思います。

また、患者さんに敬意を持つことを忘れてはなりません。人生の大先輩である患者さんに敬意を持ち、見え隠れしている、“その人らしさ”を様々な方法で引き出してほしいと思います。それができるのはOTだと思います。

様々な職種と連携し、人と人との関わりにおける基本的なマナーを大切にしながら、OTの持つ可能性を引き出していきましょう。

連載企画2 第三弾! 楽しみのサポートをしよう

介護老人保健施設 ふあみりえ 山地 康生

皆さん、こんにちは。老健部門最終回です。皆さんは日頃から「〇〇が食べたいなあ」、「〇〇に行きたいなあ」と思ったら、元気な方であれば大半の方が実現可能です。

しかし障害を持っている高齢者で、しかも施設入所している高齢者には難しいことです。

当施設の入所者も同様「〇〇のコロッケが食べたいわ」、「外出して買い物したい」などの声を聞きます。当施設での行事ではドライブでお寺参りやお花見、園芸活動を行っています。

年間で見ると外出頻度は少なく、病状の都合上、外出時の飲食にも制限が必要な方もいます。

一般に高齢者は、環境の変化や新しい人間関係を作ることが苦手とされています。家族と離れて生活している入所者は、生活の質や幸福感などが低いのではないかとされています。しかし、実際の研究結果より外出や面会頻度が多い方が幸福ではなく、高齢者が納得できる会話の内容などが重要だと報告されています。中でも、施設入所されている高齢者にとって外泊は時間制限が少なく、慣れ親しんだ家へ帰り、家族との交流がで



きます。それが満足感や幸福感につながると思われます。入所者にとって家族は大きな存在です。

つい先日も入所している利用者の娘さんから外出希望があり、その際車の乗り降りについて相談がありました。実際に娘さんの車を使用させてもらい、手の位置や立ち位置、座る際の移乗方法など乗り降りの練習をしました。安心して外出ができ、安全に乗り降りできたことを娘さんは、喜ばれていました。母親本人はドライブができ、普段食べれない食事が娘さんとできたことがうれしかった様子でした。

老健施設は中間施設に位置づけられ、家庭復帰を第一の目的としています。現在の状況では全ての高齢障害者が在宅で生活していくことは困難であります。

私たち老健職員ができることは、家庭復帰を見据え機能訓練を行い、生活の質の向上を促し、対人関係を生み出す機会や場を提供することが必要です。入所者が自分の生活のありようを実行できることが本当の質の高い生活ではないでしょうか。また自分らしい生活が送れるよう生きる力のサポート隊であることが老健のリハビリテーションだと思います。



No.7

病院紹介



三豊市立西香川病院

当院は平成12年に国立から旧三豊郡高瀬町（現三豊市）に移譲され、医師会運営の公設民営の病院となりました。国立からの移譲後は、それまでよりもより地域住民が当院に求めるニーズに合った診療体制にならなければならないといった観点から、国立時代に行っていた急性期医療を止め、「リハビリテーション（以下リハ）と認知症診療及びケア」に特化した病院へと大きく変化してきました。

リハ科全体の人員数も平成12年時3名でしたが、現在は61名（内OTは26名）まで大幅に増員し、現在の診療体制に大きく貢献する部門となりました。

OTは外来リハ、訪問リハ、回復期リハ病棟、精神療養病棟（認知症病棟）、認知症対応型デイケア、短時間通所リハに配属し、身体機能面や各種動作能力の向上のみでなく、生活行為向上を目指す作業及び活動の提供や住環境整備、福祉用具の選定、家族指導、他職種連携等、対象者に合わせた幅広い対応を行い、それぞれの部門で多くの成果を挙げるよう日々頑張っております。その一方で、院内での対応のみでなく、地域包括ケアシステム構築に向けても、これまで以上に地域貢献していきたいと考えております。

これからも、対象者や地域住民等の期待に応え、必要とされる病院であり続けられるよう、スタッフ一同、常に向上心を持って自己研鑽に取り組み、院内外ともにOTの能力を発揮していきたいと思っております。



生活行為向上リハビリテーション実施加算が新設 算定に必要な研修の履修について

MTDLP 特設委員会 委員 田 埜 篤 司

平成27年介護報酬改定において、『生活行為向上リハビリテーション実施加算』が新設されました。

今回は、この『生活行為向上リハビリテーション実施加算』の算定に必要な研修の履修について、以下にまとめました。内容についてご確認いただき、ご活用いただければと思います。

さて、平成27年4月1日に厚生労働省老健局老人保健課が発出しました、平成27年度介護報酬改定に関するQ&A (Vol.1)・問105の回答には、『算定要件として「生活行為の内容の充実を図るための専門的な知識若しくは経験」とは、日本作業療法士協会が実施する生活行為向上マネジメント研修を受講した際に得られる知識や経験が該当すると考えている。また、「生活行為の内容の充実を図るための研修」とは、①生活行為の考え方と見るべきポイント、②生活行為に関するニーズの把握方法、③リハビリテーション実施計画の立案方法、④計画立案の演習等のプログラムから構成され、生活行為向上リハビリテーションを実施する上で必要な講義や演習で構成されているものである。例えば、全国デイケア協会、全国老人保健施設協会、日本慢性期医療協会、日本リハビリテーション病院・施設協会が実施する「生活行為向上リハビリテーションに関する研修会」が該当すると考えている。』と、しています。

(一社)日本作業療法士協会では、通所リハで勤務する作業療法士に対し、出来る限り早く要件を取得する方法として、以下2つの方法を挙げています。

1. 4団体(全国デイケア協会、全国老人保健施設協会、日本慢性期医療協会、日本リハビリテーション病院・施設協会)が主催する研修会を受講。

⇒ 現在予定されている研修会は、2日間履修すれば研修修了書が授与されます。開催日・申込方法などについては、各団体のホームページまたは広報誌にて確認して下さい。

- 全国デイケア協会 <http://www.day-care.jp/>
- 全国老人保健施設協会 <http://www.roken.or.jp/>
- 日本慢性期医療協会 <http://jamcf.jp/>
- 日本リハビリテーション病院・施設協会 <http://www.rehakyoh.jp/>

2. 県士会単位で実施されている生活行為向上マネジメント基礎研修(概論90分、演習330分)を履修(積算で可)した上で、1事例以上のMTDLP実践(事例報告の提出 or 事例検討会での発表)を行う。

⇒ 実践者研修終了者には、修了証が発行されます。

⇒ 当県士会においても、今年度に概論・演習研修会、事例検討会を予定しています。

開催の案内については、県士会ホームページまたは県士会からの配信メールをご確認下さい。

※MTDLPは通所リハだけのマネジメントではなく、すべての作業療法士が行えるということが基本となります。研修会にはぜひご参加ください。

尚、(一社)日本作業療法士協会理事会は、平成27年6月1日付けで下記の決議を発表しています。併せてご確認下さい。

I. 平成28年3月31日までの扱い(経過措置)

協会「生活行為向上マネジメント研修」の基礎研修終了証取得者は、平成28年3月31日までに実践者研修を終了し、実践者研修終了証を取得すること、その者は協会員であるとともに士会員であること、を必須条件とする。(※協会員のみの方は、速やかに士会に入会下さい。)

II. 平成28年4月1日からの扱い

平成28年4月1日からは算定要件該当者は基礎研修+実践者研修のセット、つまり実践者研修終了証を取得している者に一本化する。

詳しくは、協会事務局までお問い合わせ下さい。

TEL 03-5826-7871

讃岐弁しかしゃべれんけど、 Denmarkへ視察に行ってきました。

介護老人保健施設サンフラワー 柿木直子

昨年、内閣府青年国際交流事業の中で青年社会活動コアリーダー育成プログラムに参加してきました。

この事業は、3分野（青少年・障害者・高齢者）において、社会活動の中心的担い手となる青年リーダーの能力の向上と、各国、各分野間のネットワークの形成を図ることを目的として、平成14年度から実施しています。

事業の魅力は、外国の先進的な取り組み現場を視察し意見交換できること。帰国後、海外青年を招聘し日本の取り組みを紹介、意見交換ができることだけではありません。最大の魅力は、日本の高齢者福祉の現状や今後を話し合える高い志を持った仲間が全国にできたことでした。

そのメンバー8名と10月にデンマーク王国を視察してきました。一言で表現すると、高齢者が生きがいのある生活を最期まで送れるシステムが構築されている自己実現できる国でした。これからもデンマークで学んだことを業務に活かしていきたいと思えます。



ファースゴー市 高齢者住宅スタッフと団員



コペンハーゲン市 認知症住宅の共有スペースで説明を受ける。



コペンハーゲン市 認知症住宅の浴室
(上部:天井走行リフト 浴槽:2人で行ける)

～リレーエッセイ 36～

介護老人保健施設 まゆみの里 猪熊一仁

まゆみの里では、入所や通所リハビリのご利用者にとって楽しんでリハビリに取り組んでいただく事をモットーにしています。それゆえ、レクリエーションに参加したり、あるいは、リハビリ健康体操と題して健康づくりを提供させていただいたりなど様々な取り組みをしており、ご利用者に笑ってもらえた時にはとても充実感を感じます。

もちろん、今年度の介護保険改定において、参加と活動に重点を置いたりリハビリの介入も考えながら、日々の個別リハビリで提供しなければいけません。何よりもご利用者に喜んでいただけることを念頭におきながら今後も精進していきます。



第17回 香川県作業療法学会 ご案内

拝啓 盛夏の候、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じ上げます。

平素は(一社)香川県作業療法士会の活動に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、第17回香川県作業療法学会が下記の通り開催される運びとなりました。本学会が専門職としての知識研鑽と相互の情報交換、学術向上の場として会員の皆様が交流でき有意義な会と成り得るよう、実行委員一同、学会への多数のご参加と一般演題のご応募を宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

1. テーマ 『作業療法の進化と真価』
2. 会期 平成28年1月17日(日) 9:30~16:00(9:00受付開始)
3. 会場 綾歌総合文化会館 アイレックス
(香川県丸亀市綾歌町栗熊西1680 TEL:0877-86-6800)
4. 主催 一般社団法人 香川県作業療法士会
5. 内容
 - ◎特別講演
『二つの「しんか」とOT像(仮)』
神奈川リハビリテーション病院 作業療法士 松本琢磨先生
 - ◎演題発表
県士会会員による公募
 - ◎自助具・治療器具コンテスト
県士会会員、県内の作業療法士養成校学生による公募
6. 参加費 会員:1,000円、非会員:2,000円、他職種・一般・学生:無料
7. 生涯教育ポイント 2ポイント

以上

——— 特別講演にお招きする^{まつもとたくま}松本琢磨先生のご紹介をさせていただきます。 ———



【略歴】

平成元年3月 国立療養所箱根病院附属リハビリテーション学院 作業療法学科 卒業
平成元年4月 社会福祉法人 神奈川県総合リハビリテーション事業団 入職
平成14年6月 神奈川県リハビリテーション支援センター 兼務
現在、神奈川リハビリテーション病院 作業療法科 総括主査に従事する

【執筆文献】

- 1) 臨床動作分析とその適応 身体障害領域での実際. OTジャーナル38:977-984,2004.
- 2) 評価面接・作業面接のコツ-身体障害. 香山明美, 小林正義(編): 作業療法の面接技術-ストーリーの共有を目指して-: 63-72-125-129, 三輪書店, 2009.
- 3) 頸髄損傷. 澤 俊二, 鈴木孝治(編): 作業療法評価のエッセンス: 43-51. 医歯薬出版株式会社, 2010.
- 4) 不全頸髄損傷症例. 市川和子(編): 作業療法 臨床実習とケーススタディ 第2版: 91-97. 医学書院, 2011.
- 5) コミュニケーション・環境制御装置関連. 玉垣 努・渡邊慎一(編): 福祉用具・住環境整備の作業療法. 三中央法規出版, 223-258, 2013
- 6) IT機器の基礎知識ほか. 宮永敬市 田中勇次郎(編): 作業療法士が行うIT活用支援. 医歯薬出版株式会社, 81-89, 2011
- 7) 身体障害者用補助具(マウススティックや固定台等). OTジャーナル編集委員会・内田正剛(編): テクニカルエイド. 三輪書店, 184-188, 2014 他

〈第17回香川県作業療法学会事務局〉

かがわ総合リハビリテーションセンターリハビリテーション部 作業療法科 馬場広志

〒761-8057 香川県高松市田村町1114番地 TEL: 087-867-6008 / FAX: 087-865-3915 E-mail: kagawaot17@yahoo.co.jp

(一社)日本作業療法士協会 平成27年度定時社員総会報告

しおかぜ病院 前田 悠志

平成27年5月30日(土)、一般財団法人日本教育会館一ツ橋ホールにおいて(一社)日本作業療法士協会平成27年度提示社員総会(以下、総会)が開催された。総会に先立ち、厚生労働省老健局老人保健課村井千賀課長補佐から「地域包括ケアの実現に向けて～作業療法士への期待～」というテーマでご講演いただいた。

現在、介護保険事業計画は第6期を向かえており(2015～2017)、2025年に向けた具体的な方向性を位置づける時期と言える。機能訓練にとどまらず、活動と参加に焦点を当てたサービスの重要性を説明いただいた。この説明の裏には未だに、サービスの提供が機能訓練重視のサービス提供が多いということである。利用者が機能訓練を望んでいるから…という声があるかもしれないが、データから利用者が心身機能改善だけでなく、活動や参加の多様なリハビリテーション継続の意向を持っていることを確認した(出典:平成24年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査[平成26年度実施分](6)リハビリテーションにおける医療と介護の連携に関する調査)。OT、PT特に違いがなければ…、「職種分けなくていいよね」という話しが出かねず、ここ1、2年が実は「要」なのである。それには生活行為向上リハビリテーションの(協会が推進するMTDLPの活用)流れに円滑に載っていく必要があると考える。

総会は会計への質問などあったが円滑な議事進行と採決であった。第16回世界作業療法士連盟大会・第48回日本作業療法学会が盛会に終わられたことに参加者、各会員へ御礼のことばがあり、特に県士会を挙げて尽力した神奈川・東京・埼玉・千葉県士会には協会からの感謝状が贈られた。一方、今回は役員改選の年で29名の理事立候補で投票の結果、23名が理事として当選された。また、大規模災害時の被災者支援活動について明確な文言変更のための定款変更も承認された。

昨年度から副会長が、今年度から会長が加わり2名が協会常勤の理事となり活動の報告もあった。益々国や関係団体との連携や調整にスピード感を持って対処していく意気込みが感じられた総会であった。

* (一社)日本作業療法士協会 平成27年度社員

登録社員数197名(登録日:平成23年12月11日)

平成27年4月1日現在社員数194名(1名は退会処分、2名は辞任)

香川県:定数3

植野 英一(専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ)

前田 悠志(しおかぜ病院)

松本嘉次郎(四国医療専門学校)

(一社) 香川県作業療法士会学術部について



学術部担当理事兼学術部長 中川 真人

県士会員の皆さんこんにちは。学術部の担当理事であり学術部長も兼務している中川です。今回は学術部の紹介をさせていただきます。

『事業内容』

学術研修会を年3回開催、学術誌の発刊（年1冊）、県学会の開催、ブロック勉強会の開催（西讃地区：年4回、東讃地区：年5回）

『事業内容説明』

第1回学術研修会は、概ね6月頃、第2回は10月頃、第3回は12月頃に開催しています。第1回から第3回までの各研修会担当班ごとに担当委員が集まり、研修会開催までに、数回、小部会を行って準備しています。

学術誌は、主に県学会の一般演題発表した会員に対し原稿を依頼し、それらをまとめたものや、アイデアカードを募集、編集したものを発刊しています。発刊までに、学術誌担当班で数回、小部会を行い準備しています。

県学会は4月までに実行委員を組織して、学会開催まで、毎月1回程度、実行委員会を行い準備しています。今まで、県学会は1月に開催することが多かったのですが、今後は12月頃に開催する予定です。

ブロック勉強会は、担当委員が集まり、年数回、小部会を行い、開催予定日を決定、施設との連絡調整及び開催準備を行っています。勉強会開催場所の提供施設は、西讃地区は、橋本病院・西香川病院・松井病院・三豊総合病院、東讃地区は、香川大学医学部付属病院・県立中央病院・高松協同病院・おさか脳神経外科病院、かがわ総合リハビリテーションセンターです。



学術部組織図

| 担当事業 | 氏名(所属) | 役 割 |
|-------------------|---------------------------|-----|
| 第1回 学術 研修会 | 鷹取 宏治(西山脳神経外科病院) | 委員長 |
| | 黒田 若菜(障害者支援施設 真清水荘) | 会 計 |
| | 建石 麻衣(林内科呼吸器科医院) | |
| | 伊勢谷 友美(林内科呼吸器科医院) | |
| | 村上 望(介護老人保健施設 白寿の杜) | |
| 第2回 学術 研修会 | 馬場 広志(かがわ総合リハビリテーションセンター) | 委員長 |
| | 泉 健二(かがわ総合リハビリテーションセンター) | 会 計 |
| | 松永 唯(かがわ総合リハビリテーションセンター) | |
| | 谷井 明子(かがわ総合リハビリテーションセンター) | |
| | 大矢 浩司(田村クリニック) | |
| 第3回 学術 研修会 | 高橋 直利(太田クリニック) | |
| | 柳原 隆史(いわき病院) | 委員長 |
| | 森本 義博(高松協同病院) | 会 計 |
| | 東 麻衣(いわき病院) | |
| 学術誌 | 田村 美咲(しおかぜ病院) | |
| | 岩田 恵里(松井病院) | 委員長 |
| | 渡邊 美紀(松井病院) | 会 計 |
| | 内田 晋輔(松井病院) | |
| OT ブロック 勉強会 | 石川 真之(松井病院) | |
| | 久保 潤一郎(香川大学医学部附属病院) | 委員長 |
| | 額 功(橋本病院) | 会 計 |
| | 亀山 美穂(香川大学医学部附属病院) | |
| | 吉田 真司(広瀬病院) | |
| | 田村 篤志(かがわ総合リハビリテーションセンター) | |

| 担当事業 | 氏名(所属) | 役 割 |
|---------------------|------------------------------|-------|
| 県学会 実行 委員会 | 植野 英一(穴吹リハビリテーションカレッジ) | 学 会 長 |
| | 中川 真人(介護老人保健施設 白寿の杜) | 学会長補佐 |
| | 渡辺 正人(高松協同病院) | 実行委員長 |
| | 馬場 広志(かがわ総合リハビリテーションセンター) | 事務局長 |
| | 樋本 英司(プライマリケア訪問看護ステーション) | 事 務 局 |
| | 水上 保孝(四国医療専門学校) | 運営部長 |
| | 柳原 隆史(いわき病院) | 運 営 部 |
| | 難波 和広(多機能型事業所 ワークサポートセンター三愛) | 運 営 部 |
| | 山下 翼(回生病院) | 運 営 部 |
| | 多田 晃平(回生病院) | 運 営 部 |
| | 村川 琢人(高松協同病院) | 運 営 部 |
| | 若林 佳樹(創心会リハビリ倶楽部 高松中央) | 財務部長 |
| | 柿木 直子(介護老人保健施設 サンフラワー) | 財 務 部 |
| | 徳井のぞみ(三船病院) | 財 務 部 |
| | 西田 典真(プライマリケア訪問看護ステーション) | 渉外部長 |
| | 伊藤 由貴奈(かがわ総合リハビリテーションセンター) | 渉 外 部 |
| | 廣瀬 正敏(香川県済生会病院) | 渉 外 部 |
| | 廣永 大祐(穴吹リハビリテーションカレッジ) | 編集部長 |
| | 松本 尚士(有料老人ホーム ネムの木) | 編 集 部 |
| | 蔵本 徹(高松協同病院) | 編 集 部 |
| 前田 悠志(しおかぜ病院) | 学会特別補佐 | |
| 久保 潤一郎(香川大学医学部附属病院) | 学会特別補佐 | |
| | 五味 陽子(赤沢病院) | 顧 問 |

以上、簡単に紹介させていただきました。学術部は総勢40名の大所帯となっていますが、今後も手伝っていただける方を随時募集しています。一緒に県士会を盛り上げていきましょう。よろしくお願いたします。

学術部からのお知らせ

平成27年度の学術誌は、昨年度より充実したものにし、県士会員の皆様に提供していきたいと考えております。

つきましては、

①レクリエーション・アクティビティ・自助具・スプリントなどオリジナルのアイデアカードを出していただける方

②平成28年1月に開催される県学会で演題発表される方

以上に該当する方に、掲載していただける原稿を募集しております。①に関しましては今年度の学術誌に、②に関しましては、来年度の学術誌に掲載させていただこうと考えております。なお、ISSNを登録しているので編集委員(その分野の経験ある県士会員)からの修正、加筆をお願いすることがあるかもしれませんのでその際はご了承、ご協力よろしくお願いたします。

詳しくは下記連絡先までお問い合わせ下さい。ご協力よろしくお願いたします。

〈問い合わせ先〉

〒768-0013 香川県観音寺市村黒町739 医療法人ブルースカイ松井病院 リハビリテーションセンター OT 岩田 恵里

TEL 0875-23-2111 / FAX 0875-23-2100 / Eメール: jimui@matsui-hp.com

求人票

施設名: 医療法人社団 田村クリニック

住 所: 〒763-0048 丸亀市幸町1-5-5

施設までの交通機関: 予讃線「丸亀駅」下車徒歩7分

TEL: 0877-22-8391

FAX: 0877-22-8392

URL: <http://www.tamura-clin.com/>

募集人員: 若干名

採用予定: 随時

介護保険分野リハビリテーション拡充予定

(ステーションオープン検討中)

勤務時間: 常勤に関しては、勤務場所により応相談

基本的には週40時間1日8時間以下 非常勤は応相談

施設概要: 外科・整形外科・リハビリテーション・内科

ダイケア・訪問リハビリテーション・訪問看護

ステーション・デイサービス・サービス付き高齢者住宅・グループホーム

施設基準: 運動器Ⅰ 脳血管Ⅱ

業 務: 急性・亜急性期整形外科疾患、脳外科疾患、神経内科疾患、外科術後、呼吸器内科疾患、嚥下障害など病棟・外来・ダイケア・訪問業務

待 遇: 応相談 交通費別途支給

賞 与: 2回/年

加入保険: 健康・雇用・労災・厚生・退職金共済

選考内容: 提出書類…履歴書(写真付)資格書コピー

書類受付…随時

選考方法…面接

日 程…随時

見 学: 電話連絡の上日程調整後可

連 絡 先: 田村クリニック 田村美和 までお願いたします。

～勉強会案内～

1. 80%の謎に迫る!! 腰下肢痛・しびれに対する

トリガーポイントリリース in 松山!!

主催：Oriental Physio Academy (OPA)
 開催日時：2015年8月9日(日) 10:00～16:00 (受付は9:30～)
 開催地：愛媛県総合社会福祉会館 4F視聴覚室
 〒790-8553 松山市持田町三丁目8-15 TEL089-921-5070
 費用：12,000円
 定員：30名
 対象：どなたでも可。
 (申し込み・お問い合わせ先)
<http://pro.form-mailer.jp/fms/fc5ac31478544>

2. 徒手療法入門セミナー

主催：日本スポーツリハビリテーション学会(理学療法科学学会、標準徒手医学会との合同セミナー)
 開催日時：2015年8月16日(日)10時～17時まで
 開催地：香川県県民ホール 高松アルファあなぶきホール
 費用：5000円
 定員：30名
 対象：PT・OT・その他医療系セラピスト
 (申し込み・問い合わせ先)
 ①受講希望コース名
 ②受講希望コース日程
 ③氏名
 ④連絡先 自宅の場合(郵便番号・住所)
 ④連絡先 職場の場合(郵便番号・施設名・所属部署・住所)
 ①～④を記載のうえ下記アドレスへ電子メールで申し込んで下さい
pt_mtspecialist@yahoo.co.jp
 *各セミナーの詳細(時間・会場・注意事項など)は申し込み後、連絡先アドレスへメールで返信いたします。

3. 香川開催「治療に必要な感覚を体現する」

主催：岩手セラピー研究会
 開催日時：2015年9月26日(土) 10:00～16:00
 開催地：香川県社会福祉総合センター 6階 和室研修室
 香川県高松市番町1-10-35
 費用：12,000円(7月31日までの申し込みで早割10,000円)
 定員：限定20名 残り18名
 対象：各種セラピスト
 (申し込み・問い合わせ先)
<http://ssl.form-mailer.jp/fms/8d6b779a365851>

4. 第4回四国ハンドセラピー研修会

テーマ：「手のスプリント療法基礎的理論と実際」
 開催日時：2015年11月22日(日)10:00～17:40(受付開始9:30～)
 開催地：土佐リハビリテーションカレッジ(TEL:088-866-6119)
 〒781-5103 高知県高知市大津乙2500番地2
 費用：8,000円(※リピーター割引:2年前の第2回研修受講者は5,000円)
 ◎日本作業療法士協会 SIG生涯教育制度ポイント認定
 ◎日本理学療法士協会 専門理学療法士制度ポイント申請中
 定員：100名(先着順)
 対象：作業療法士・理学療法士
 申し込み：個人単位で、1氏名、2所属施設、3所属住所、4返信可能な連絡先アドレス、5職種、6懇親会への出欠、7第2回研修会への受講歴有無を記載し、研修会開催の2週間前までに必ずメールにてお申込みください。
 (研修会E-mail:459handtherapy@gmail.com)
 (問い合わせ先)
 〒762-0007香川県坂出市室町三丁目5番28号 TEL:0877-46-1011
 総合病院回生リハビリテーション部 四国ハンドセラピー研究会事務局 石井誠二
 研究会HP: <http://shikoku-handtherapy.jimdo.com/>

事務局連絡

入会 村上 太気 (いわき病院)
 福山 千晴 (高松協同病院)
 桂 雅俊 (回生病院)
 松本 雄治 (高松平和病院)
 宮脇 舞 (聖マルチン病院)
 木村 成子 (阪本病院)
 村井 真樹 (老健 ヴィヴァン)
 松原 賢固 (樫村病院)
 桑崎 裕矢 (しおかぜ病院)
 鶴窪 良樹 (西山脳神経外科病院)
 磯崎 拓也 (ふじた医院)
 白石 諒 (赤沢病院)
 川畑 りえ (高松協同病院)
 細川 明奈 (自宅)
 石川 友愛 (西山脳神経外科病院)
 井上 美紀 (老健ハートフルこくぶんじ荘)
 辻本 裕紀 (高松協同病院)
 野崎 千晴 (赤沢病院)
 増田佳代子 (高松平和病院)
 三好 博史 (済生会病院)

入会 白石 真央 (おさか脳外)
 松木佳央里 (老健香南苑)
 宮川 友輔 (橋本病院)
 柳萬 裕美 (樫村病院)
 向井 愛理 (老健やすらぎの杜)
 中 久美子 (自宅)
 氏家 歩 (三豊総合病院)
 高橋 優里 (滝宮総合病院)
 入江 新 (橋本病院)
 廣田奈緒子 (かがわ総合リハビリテーションセンター)
 下中 源衛 (老健 五色台)

異動 橋本 梓 (回生病院)→(老健松寿荘)
 佃 直樹 (三宅リハ)→(デイサービスほっと)
 藤川 理 (池田内科医院デイケアステップ)→(しんしん企画)
 前田 真弓 (老健すこやか苑)→(自宅)
 大久保直宗 (ふじた医院)→(自宅)
 福寄 美里 (自宅)
 山西 大介 (デイケアおさか)→(老健ロイヤル三好)

退会 長田奈緒美
 田中 藍子

復会 十鳥 美妃 (宇多津クリニック)
 末澤絵梨加 (高松赤十字)

■(一社)香川県作業療法士会ニュースNo65■

編集長：木村勇介 編集委員：西城悠香・渡田亜裕美・高橋真理・善相原健史・瀬知杏奈・安藤瑞基・大岸末佳
 西岡奈菜・水口未紅・松永智香・亀山多喜子・津崎裕也・鎌田雄大・高橋優里